

マーケットの動き（2025年11月3日～11月7日）

先週の米国国債市場は、前週末比でほぼ横ばいでした。

5日に発表された10月のADP雇用統計と、米国ISM非製造業景況感指数が市場予想を上回ったことや、米財務省が将来的に中長期や超長期債の発行拡大を検討していると明らかにしたことなどを背景に、米国長期金利は上昇しました。その後、6日に民間の米労働市場調査で雇用の減速が示されたことなどから、金利は下落に転じました。

欧州国債市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。

投資環境見通し（2025年11月）

長期金利は、米国、欧州（ドイツ）ともにレンジ内での動き

米国：関税政策の影響からインフレ懸念がやや高まる可能性はありますが、一方でFRB（米国連邦準備制度理事会）による利下げ観測は後退しつつも依然として残ることから、長期金利はレンジ内で推移するとみています。

欧州：ECB（欧州中央銀行）総裁は域内インフレ見通しに関して、通常より不確実性が高く、世界の通商政策を巡る環境はなお流動的で、上振れと下振れの双方向のリスク要因との見方を示しました。ドイツ長期金利は米国長期金利と同様にレンジ内で推移するとみています。

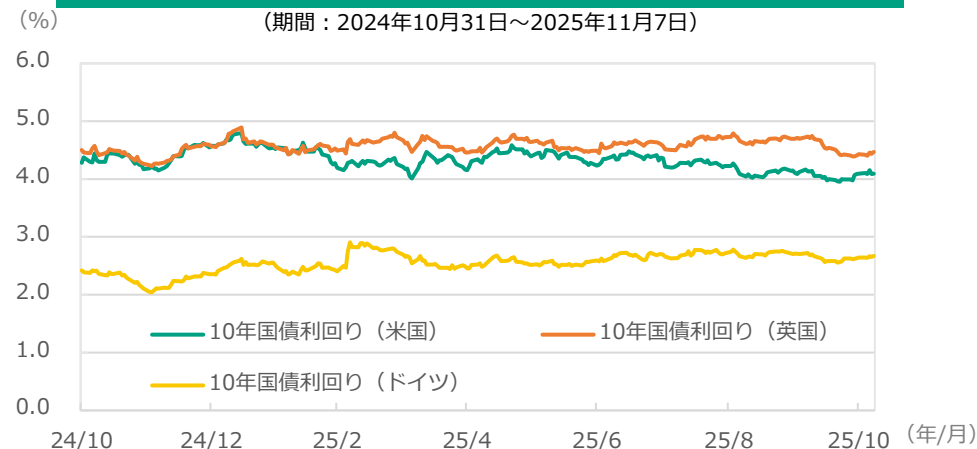
	11月7日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	4.09	▲0.00	▲0.04	▲0.19	▲0.24
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース（騰落率）	646.86	▲0.61%	1.61%	9.60%	6.74%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202511_outlook.pdf

主要国国債利回りの推移



FTSE世界国債インデックスの推移



※2024年10月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>